



# 永福学園通信

令和6年5月15日

第2号

東京都立永福学園  
統括校長 緒方直彦

## 新しい生活が始まりました

大型連休が終わり、新緑のまぶしい季節となってきました。夏のような日差しを感じる日も多くなってきています。

学校では新入生が入学してから1か月が過ぎました。就業技術科では4月に100名の新入生が入学しました。新しい環境で新しい友達、この1か月は新入生にとって本当に落ち着かない1か月だったのではないのでしょうか。

新しい環境に慣れるのは誰にとっても大変なことです。今まで経験していなかった交通機関を使っての通学。初めての時間割で初めての学習、職業に関する専門教科では今まで経験をしたことのない内容を学習します。

新しい人間関係も始まりました。クラスの友達はほとんどが知らない生徒です。その中で新しい友達もたくさんできますが、同時にトラブルなども経験していきます。100人もいと様々な性格の生徒がいるので、気の合う人もいれば、苦手なタイプの生徒も出てくるでしょう。

様々な人たちと気持ちの折り合いをつけながら生活することは、社会に出る上で身に付けなければならないとても大事な力です。就職後の離職の理由で、「職場での人間関係」が実は多くの割合を占めています。生徒達には、周りの人たちとのコミュニケーションをとるのが苦手な生徒が多くいます。しかし、周りの人たちと良好な関係を築くことができるようになっていかなければなりません。

「あさをひらくことば おはよう おはよう」「こころひらくことば ありがとう ありがとう」本校の校歌はこの歌詞から始まります。周りの人たちとうまくコミュニケーションをとっていくには、挨拶や感謝の言葉はとても大切です。このことをはじめ、学校では様々な場面で周りの人とのコミュニケーションを学んでいきます。その際に大事なことは相手の気持ちを考えることだと私は考えています。相手の気持ちを考え、相手のことを大切に思うことが上手にコミュニケーションをとる第1歩なのではないのでしょうか。

私たち教員も児童・生徒一人一人の気持ちを大切に、日々の学習を進めていきたいと考えています。その中で児童・生徒の皆さんも様々な学習や行事を経験して、多くの力を身に付けていって欲しいと思います。

就業技術科副校長 山崎 裕之



## 新入生の新生活の感想



### 高等部就業技術科

私が入学してから1か月、とても楽しい学校生活を送っています。  
 新しい友達との出会い、全く新しい教科、全てが新鮮です。  
 専門教科では、難しいことが多いですが、それでもうまくできた時は達成感を実感します。毎回新しい知識を取得できて楽しいです。

そして、永福学園はとても活気があっていいなあと思います。挨拶もさかんで、元気いっぱいです。

また、永福学園の最初の行事「東京ラリー」では、都庁から東京駅までを歩きました。頑張ってみなでゴールした時は嬉しかったです。

入学してたった1か月ですが、とても楽しいです。これからもいい学校生活を送りたいです。

[5月2日の東京ラリーで訪れた国立競技場、桜田門、東京駅]

1年9組 水上 倅



### 肢体不自由教育部門

#### 小学部1年生へのインタビュー

入学して、うれしいこと・楽しいことは？

- 友達がたくさんできて、うれしい。
- 給食が楽しみ。友達と一緒に食べることが、うれしい。
- 1年生の学年の歌が、大好き。
- 学年活動の大布遊びが、とても楽しい。

学校でチャレンジしたいことは？

- 大きなプールで泳いでみたい。
- 早く遠足に行きたい。

#### 中学部1年生、高等部1年生の感想

私が永福学園に入学して思ったことは、先生がおもしろい、ということです。冗談を言って笑ったり、給食の時間に楽しい話をしたりします。

今、僕は電動車いすを作っていて、もうすぐ完成する。永福学園に入学して、一番楽しみなのは、電動車いすで移動することである。夏休みにも電動車いすの操作練習をして、校内一人移動の判定を受けて、学校中を巡りたい。そして、僕が一番行きたかった図書館に行こうと思う。

東京都立永福学園

副校長 山崎 裕之 安田 泉 松本 忍  
 主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

<https://www.eifuku-sh.metro.ed.jp/>